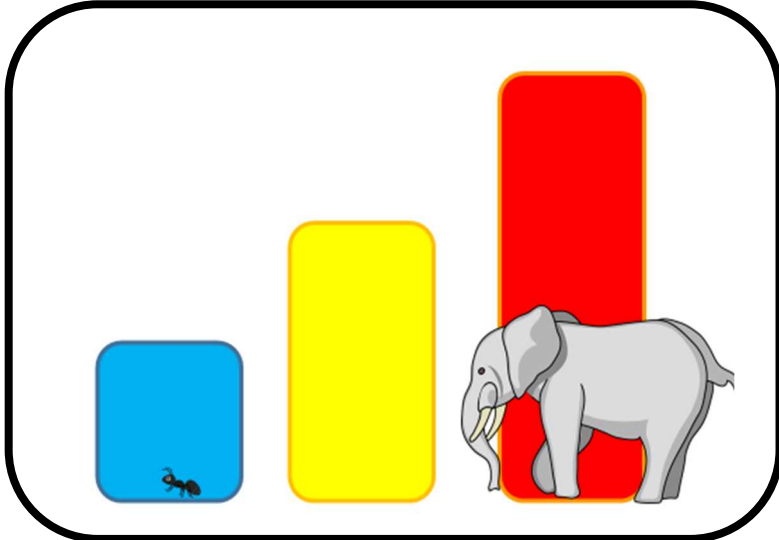


教材名	ぞうさんの声 ありさんの声シート
自立活動の区分	人とかかわり方の勉強：場に応じた態度
教材のねらい	自分の声の大きさや、力の強さなどを調整することができる。
使用した学年	小学部4年
教材・教具の写真	
	
使用方法	
・児童に教材を提示しながら、「ありさんは小さい、ぞうさんは大きいよね」という話をする。 ・小さな声でありさんの「こんにちは」、大きな声でぞうさんの「こんにちは」を演じて見せ、児童が模倣できるまで何度か練習する。 ・イラストを指差ししながら、児童に「ありさんのこんにちはって、どうだった？」などと質問し、楽しくやりとりをする。 ・相手が近くにいるときには小さな声で十分で、相手が遠くにいるときには大きな声が適している、ということを伝え、実際に体験してみる。	
教材の有効性（おすすめポイント）	
・ありやぞうのイラストにより、小学部段階（特に低学年）の児童にも、大きい、小さいのイメージがしやすい。 ・図形の色、大きさにより、度合いの強さがイメージしやすい。 ・楽しく模倣遊びをする中で、自分の声の大きさを知り、調整することができる。	
教材の工夫や改善点	
・太鼓を叩く強さ、粘土などを握る力の強さなどに応用し、いろいろな場面で自分の行動を調整する機会を設けていくとよい。 ・児童の実態に応じ、大きい、小さいだけでなく中間位の動物も入れて「中くらいの大きさ」ということも学べるとうい。	
備考（材料・参考資料など）	
おすすめしたい学年	小学部